

入間市地区センター整備計画(素案)に対する意見等一覧表

6. 防災に関すること		
NO.	意見	市の考え方
230	防災関連の強化(災害時の拠点の整備・宿泊できるように)	
231	近年の災害は地域により災害の種類や規模が違っている中、自治防災会の課題も多い今日、地域防災体制が地区センターで強化される取組の計画に期待します。	地域防災計画に基づき、必要な対応を図ります。 地域コミュニティと連携した地域防災体制の強化に取り組んでまいります。
232	災害時の現場本部及び避難場所・避難所の責任者として主幹職であるセンター長が兼務することは、職務の長時間化(夜間や祝祭日等の対応等)が懸念されます。このことは自主防災会のリーダーとして大いに危惧するところであって、具体的な災害の種類に応じた対応について検討し、必要な対策を実践していただきたい。	
233	・近年、想定外の災害が多く発生しています。 ・想定される範囲内や予想される範囲内での基準のランクをあげて、従来は「想定外」とされてきたレベルの災害にも耐えるような防災拠点になるようにしていただけると、住民としては「入間市に住んでよかった」と感じることができます。 ・平常時は街づくりや社会教育の場、コミュニケーションの場としてのセンターも、災害時には何よりも頼りになる拠点になるような設備と要員を準備いただけると有難く存じます。	地域防災計画に基づき、必要な対応を図ります。避難場所・避難所の責任者は職員動員体制において、適切に配置します。
234	平常時は地域の防災体制強化に取り組みますとあり、各自自治体へ災害発生時の備蓄品等の基準を示してもらいたい。例えばアルファ米は自治会員の3%程度	
235	災害への備えの強化①:地域センターに必須とする設備・備品と実際の確保数をお教えてください。(例えば、食料、水は1万人の人口に対して何日分が確保されているとか…)地域人口の数万人に対しての場所の確保、食料の確保、連絡網の確保、医療体制の確保、等々。どの様な項目に対して対応されており、地域人口に対してどの程度の数量が確保されているのかをお教えてください。(地震や豪雨・洪水の災害により避難を余儀なくされた時の市としての備えを知っておきたいと思えます。)	各施設における備蓄数等について、現時点で公表できるデータはありません(防災センターの備蓄数については、地域防災計画に明示しています)。また、地域の状況によっても異なるため、一律の基準設定はしていません。地区センターは各地区の防災拠点として現場本部を置き、避難所としても機能しますが、施設規模から避難所・避難場所各地区における防災体制のすべてを地区センターが担うわけではありません。避難場所については、地域防災計画に明示しています。また、災害時における給食施設は学校や保育所等の教育施設が中心となることを想定しています。
236	避難場所(区に関係なく)を決め、災害時必需品の備蓄管理を明確に！ 災害発生すると「炊き出し」が必要となりますが、現在の公民館料理室では60食止まりです。あつてはならない準備ですがせめて200食位の調理が出来る様な設備を期待します。	
237	避難所の開設については状況に応じて判断と回答していますが、現在黒須地域は小中学校共に河川沿いにあることから、水害に対する避難所は指定されていません。そんななか状況に応じて判断では、異常気象に対応できないのではないのでしょうか。早期に指定すべきと考えますが、如何でしょうか。	地域防災計画では既に小中学校を中心に避難所を指定しております。 風水害時に開設する避難所については、広報いるま令和2年7月1日号でお知らせしているところです。黒須地区は黒須公民館や豊岡方面の避難所(豊岡小学校等)を想定しています。
238	豊岡第三地区センターは、想定される水害において、施設は浸水しない見込みとのことだが、何の根拠があるのか。現在地は既に浸水が想定されているから水害時には使えない設定になっているのではないか。また移転先未定の現段階で、どうして浸水しない見込みと言えるのか。また、高倉小学校は廃校後も地域のコミュニティ施設として活用する方針なので避難所が無くなる訳ではないと繰り返し説明されてきてはいるが、それも校舎の耐用年数が切れるまで、その後については未定のはず。	浸水見込みは、現施設についてお答えしたものです。高倉小学校の活用については、公共施設マネジメント事業計画で示されたとおり、検討の段階です。避難所や現場本部の設営等、災害時の対応については、今後の公共施設マネジメントの進捗を踏まえ、随時見直しを図ってまいります。
239	宮寺・二本木地区センターの防災拠点について 水害発生時においても当施設(現宮寺公民館)は浸水しないとの考えの様ですが、数年前の大雨(台風の時かと思いますが)のとき、公民館の南・北にある不老川と用水堀が氾濫し施設の周りが水浸しとなり、とても公民館に行けない状況でした。 従って施設そのものの浸水対応以前の問題として周囲の浸水対策を行わなければ防災拠点とはなり得ないと考えます。	防災拠点については、水害に限らない運用としており、水害時には、施設内の垂直避難や地域内の別施設での対応等、災害状況に応じて対応を図ります。
240	災害への備えの強化②:防災拠点としての立地に関して確認した質問に対する回答として、“想定される水害において、施設は浸水しない見込み”と回答がありましたが、入間市で出されております“水害・土砂災害警戒マップ”において、宮寺公民館の周辺は過去に床上床下浸水被害の発生地域であることが入間市より提示されております。宮寺・二本木地区で最も危険な場所のように見えております。市の回答で言われている浸水しない見込みであるとの根拠をお教えてください。	令和3年度に新たに作成した洪水ハザードマップにおいて、入間市で想定される最大規模の降雨等に伴う洪水浸水想定区域等を表示しています。宮寺公民館周辺地域は浸水深0.0m～0.5mと想定されていますが、宮寺公民館の施設については、浸水は想定されていません。

241	防災拠点機能の充実 西武公民館は、土砂・地震災害だけの市指定避難所で防災拠点機能として不十分で前には入間川があり、近年の温暖化に伴う集中豪雨がたびたび発生、水害のリスクがある。	現行の施設を地区センター化し防災拠点として位置付けますが、災害時の対応については、近年の災害状況や、市民意見を踏まえ、適宜見直しを図ってまいります。 入間市公共施設マネジメント事業計画では2039～2048年に現在地で建替えの計画となっています。
242	(西武地区センターについて) 水害時に拠点機能が果たせるか心配。 公共施設マネジメント事業計画では、第3期に建替えとある。 中学校の統廃合で空いた施設への移転も要検討。バリアフリー化もあるので早めに検討願いたい。	
243	避難所と収容人数等を明示してもらいたい。	地域防災計画において示します。
244	避難所としての資材等はどのようにするのか具体的に示してもらいたい。	防災訓練等の機会に、資材の使用方法を具体的に説明する予定です。
245	6つの機能を備えた複合施設、この計画の整備が順調に進み、6つの機能が連携することによって地域住民が安心して暮らせる街づくりに繋がることと思います。 近年災害への不安が大きくなっていると思いますので、防災拠点が各地区にできて機能することは安心です。	6機能の連携により、各地区における利便性の向上や地域づくりの促進が図れるように取り組んでまいります。
246	平常時における地域の防災体制強化とありますが、避難行動要支援者の支援は防災上必要不可欠な問題であると考えます。高倉地区では、災害時における避難行動要支援者避難プランに基づく個別避難支援計画書は未だ一人も作成されていません。このような問題についても取り組むことを意味していると解して良いのでしょうか。5年間為しえなかったことですので早期に対応して欲しいと思います。	各地域の自主防災会と連携し、個別避難支援計画の作成を進めています。地区センターにおいても引き続き取り組んでまいります。
247	第3章の各地区センターにおける記載は、自主防災会との連携に関する事務とありますが、どのようなことを想定しているのでしょうか。質問55の回答だけだと、前述の⑦項目への対応は考えていないのでしょうか。	個別避難支援計画の作成を含め、地域の防災体制の強化にかかる取組を自主防災会と連携して進める考えです。
248	R11年度以降の避難場所は他の施設で対応する予定と回答していますが、公民館が廃止になるのは決定しているのだから、避難場所も明示すべきと考えます。	避難所や現場本部の設営等、災害時の対応については、今後の公共施設マネジメントの進捗を踏まえ、随時見直しを図ってまいります。
249	(高倉小学校跡地利用について) 校舎に扇台福祉作業所や青少年活動センターなど複数の「入居予定」の話が聞かされてきたが、そういった目的で使われている施設が避難所として活用できるものか具体的に検討されたのか。障がい者が働く施設を広く避難所として解放することは、その間、環境の変化に対応するのが難しい障がい者の居場所を奪うことになるのではないかと。もし福祉作業所を入れることは決定できないというのなら、それはそれでいいかげんな説明をしてきたことになり、不誠実な回答となるのではないかと。また、校舎の耐用年数が切れた後のことについては、公共施設マネジメント計画以来ずっと、具体的な説明は受けたことがない。これでは市の防災政策には不安を感じざるを得ない。	高倉小学校の活用については、公共施設マネジメント事業計画で示されたとおり、検討の段階です。避難所や現場本部の設営等、災害時の対応については、今後の公共施設マネジメントの進捗を踏まえ、随時見直しを図ってまいります。
250	最近の災害の異常さから見て、安全で避難しやすい処に各施設があって欲しいと思っています。	将来的に移転新設を予定している施設については、安全性を考慮して移転先を検討していきます。現在地での建て替えを予定している施設については、安全性の高い構造となるよう、設計において配慮します。
251	(施設の廃止により) 災害時など避難施設としての役割も担えなくなってしまうのではないのでしょうか。平成の市町村大合併で、吸収された地域では、懸念された通りのサービス低下の状況が各地から報告されています。それと同じことになると思います。	現在、市内には公民館を含め54か所の避難所があり、分館の廃止後は、当該地区のその他の公共施設により対応する予定です。